

建設新聞

発行所
建設新聞社
〒980-0821 山形市青葉区曙町7-5
市外局番(022)221-下記番号
総務部 46001
FAX221-4633
編集部 46002
FAX217-4170
編集事業部 46003
FAX221-4637
営業部 46004
FAX268-6416
編集事業部経理室 46006
FAX221-4637
©建設新聞社2019

アンビスHD、ほか

県外資本が複数の施設開設

大手民間介護事業者の仙台進出の動き

急性期治療後の高齢患者の受け皿確保へ

仙台市内で、県外資本事業者による介護施設や高齢者向け施設の開設が複数見られる。三重県や愛知県での事業開始を経て、首都圏を含む関東、東北地区などで「医心館」の名称で有料老人ホームの展開を進めているアンビスホールディングス（東京都中央区八重洲1の9の8）柴原慶一代表取締役は、宮城県では初めての施設展開となる「医心館（仙台長町）」の開設準備を仙台市太白区八本松1丁目地帯に進めている。約2000平方メートルの用地をすでに確保しており、同社HPによると定員は52人、来年4月（以降）のオープンが見込まれる。

国の病状区分の見直しなどを背景として、急性期治療を終えても医療を必要とする高齢者等の患者が退院

を余儀なくされ、自宅や介護施設での療養を迫られる事例が増えている。ただ、患者の家族にとっては必要時に十分な医療を施してもらえるのかという不安がつきまわっている。

本紙記者であるA氏は今年に入ってから母親を看取ったが、「地域の公立中核病院を退院して介護老人保健施設に入所したものの、一定期間を過ぎると退院を迫られるうちに、すっかり体力を失っていった」と話す。就業者B氏も高齢親族の介護の機会に接し「療養病床に入院していたが、病院から早期退院を促された。正直、家に戻すか心配で困窮が変化するか心配で悩んだ」と当時の心境を語る。

現在、病院の病床区分は急性期治療を施す一般病床のほか、療養病床、精神科

床、感染症病床、結核病床の5種類があり、急性期治療を終え病状が安定した患者は必要に応じて回復期リハビリテーション治療を行い慢性期治療に移行する。ある程度病状が安定している慢性期の患者の長期療養を目的として医療措置やリハビリなどのサービスを提供するのが療養病床で、これには早期退院に向けた経過的な医療措置を目的とし、概ね3カ月間を入院期間とする医療保険適用の医療措置も必要とする概ね1年程度を入院期間とする介護保険適用の介護療養病床がある。このうち介護療養病床は2017年度末で廃止が決まり、その後継施設として新設された介護医療院などが、24年3月までは給付を考慮しても現在は

「供給が需要をやや上回っている状況」（宮城県保健福祉部医療政策課）にあるという。

ただ、患者やその介護・看護にあたる親族等の住所など生活圏近隣に必ずしも空きベッドがあるとは限らない状況にあることや、患者本人が長く病院での入院生活を嫌い、老人ホームなどへの入所を望むケースも多い。また、仮に療養病床へ入院し続けたとしても、入院期間の上限がある程度定められ、長期入院が難しい現在の医療システムは介護離職という社会問題を生む一因にもなっている

と指摘され、これらの「隙間」を埋める施設の必要性が当事者から叫ばれている。このような状況を背景に、医心館は地域の慢性期・終末期医療の担い手として24時間365日看護による安心・安全ケアと見守りで、専門的な医療・介護にも対応できる「在宅型の病床」（同社HPより）を提供する施設づくりが標榜されている。

現在、東北では岩手県に「医心館盛岡」（盛岡市本宮 定員40人）と、「同盛岡Ⅲ」（同市下太田沢田 同54人）、山形県に山形市

馬見ヶ崎に「医心館山形」（山形市馬見ヶ崎 同40人）があるほか、これからの開設として先の仙台長町のほか、青森県八戸市田向に「医心館八戸」（同45人）と、岩手県北上市さくら通に「医心館北上」（同31人）を設備予定に挙げている。仙台市では人口規模を考えれば潜在的な需要はまだ多いと見られることから、今後、複数の事業展開を考え（同社広報担当者と話している）。

一方、介護・保育・障がいサービス事業を展開するリビングプラットフォーム（札幌市中央区南二条西20丁目291 金子洋文代表取締役）も仙台市内数カ所で新規の施設展開に着手している。

青葉区上杉6丁目では、地権者が建設した施設を有料老人ホーム（S造4階建て、延べ2611平方メートル）として使用する予定で来年春の完成を目指し現在工事が進められている（設計・施工は大和ハウス工業）。北山交番の西側近隣地となる青葉区北山1の228の1ほか地内の敷地53

4・06平方メートルは、自社が建設主体となり「北山1丁目複合福祉施設」（仮称）の建設に着手している。施設規模はRC造5階建て、延べ1064・48平方メートル。設計はスカイリフ環境計画（東京都新宿区）。施工は東日本アセットマネジメントが担当し、来年春頃の完成が見込まれている。

この北山の施設と、近くは青葉区荒巻地区で建設中の施設は仙台市が来年春のオープンをめどに選定した認知症対応型共同生活介護（グループホーム）として選定されている。定員はそれぞれ18人と27人。さらに、泉区泉中央南地区では近くサービス付き高齢者向け住宅「ライブラリ泉中央」（仮称）の建設計画の着工が予定されている。RC造5階建て、延べ3690平方メートル規模、完成は来年末が見込まれる。

このほかにも、仙台市内には最近、東北進出の大手民間介護事業者が高齢者介護施設の事業展開を図ろうとする動きが確認されており、利用者側の選択肢の幅が広がっていきそうだ。

「供給が需要をやや上回っている状況」（宮城県保健福祉部医療政策課）にあるという。

ただ、患者やその介護・看護にあたる親族等の住所など生活圏近隣に必ずしも空きベッドがあるとは限らない状況にあることや、患者本人が長く病院での入院生活を嫌い、老人ホームなどへの入所を望むケースも多い。また、仮に療養病床へ入院し続けたとしても、入院期間の上限がある程度定められ、長期入院が難しい現在の医療システムは介護離職という社会問題を生む一因にもなっている

と指摘され、これらの「隙間」を埋める施設の必要性が当事者から叫ばれている。このような状況を背景に、医心館は地域の慢性期・終末期医療の担い手として24時間365日看護による安心・安全ケアと見守りで、専門的な医療・介護にも対応できる「在宅型の病床」（同社HPより）を提供する施設づくりが標榜されている。

現在、東北では岩手県に「医心館盛岡」（盛岡市本宮 定員40人）と、「同盛岡Ⅲ」（同市下太田沢田 同54人）、山形県に山形市

馬見ヶ崎に「医心館山形」（山形市馬見ヶ崎 同40人）があるほか、これからの開設として先の仙台長町のほか、青森県八戸市田向に「医心館八戸」（同45人）と、岩手県北上市さくら通に「医心館北上」（同31人）を設備予定に挙げている。仙台市では人口規模を考えれば潜在的な需要はまだ多いと見られることから、今後、複数の事業展開を考え（同社広報担当者と話している）。

一方、介護・保育・障がいサービス事業を展開するリビングプラットフォーム（札幌市中央区南二条西20丁目291 金子洋文代表取締役）も仙台市内数カ所で新規の施設展開に着手している。

青葉区上杉6丁目では、地権者が建設した施設を有料老人ホーム（S造4階建て、延べ2611平方メートル）として使用する予定で来年春の完成を目指し現在工事が進められている（設計・施工は大和ハウス工業）。北山交番の西側近隣地となる青葉区北山1の228の1ほか地内の敷地53

4・06平方メートルは、自社が建設主体となり「北山1丁目複合福祉施設」（仮称）の建設に着手している。施設規模はRC造5階建て、延べ1064・48平方メートル。設計はスカイリフ環境計画（東京都新宿区）。施工は東日本アセットマネジメントが担当し、来年春頃の完成が見込まれている。

この北山の施設と、近くは青葉区荒巻地区で建設中の施設は仙台市が来年春のオープンをめどに選定した認知症対応型共同生活介護（グループホーム）として選定されている。定員はそれぞれ18人と27人。さらに、泉区泉中央南地区では近くサービス付き高齢者向け住宅「ライブラリ泉中央」（仮称）の建設計画の着工が予定されている。RC造5階建て、延べ3690平方メートル規模、完成は来年末が見込まれる。

このほかにも、仙台市内には最近、東北進出の大手民間介護事業者が高齢者介護施設の事業展開を図ろうとする動きが確認されており、利用者側の選択肢の幅が広がっていきそうだ。

現在、東北では岩手県に「医心館盛岡」（盛岡市本宮 定員40人）と、「同盛岡Ⅲ」（同市下太田沢田 同54人）、山形県に山形市

馬見ヶ崎に「医心館山形」（山形市馬見ヶ崎 同40人）があるほか、これからの開設として先の仙台長町のほか、青森県八戸市田向に「医心館八戸」（同45人）と、岩手県北上市さくら通に「医心館北上」（同31人）を設備予定に挙げている。仙台市では人口規模を考えれば潜在的な需要はまだ多いと見られることから、今後、複数の事業展開を考え（同社広報担当者と話している）。

一方、介護・保育・障がいサービス事業を展開するリビングプラットフォーム（札幌市中央区南二条西20丁目291 金子洋文代表取締役）も仙台市内数カ所で新規の施設展開に着手している。

青葉区上杉6丁目では、地権者が建設した施設を有料老人ホーム（S造4階建て、延べ2611平方メートル）として使用する予定で来年春の完成を目指し現在工事が進められている（設計・施工は大和ハウス工業）。北山交番の西側近隣地となる青葉区北山1の228の1ほか地内の敷地53

4・06平方メートルは、自社が建設主体となり「北山1丁目複合福祉施設」（仮称）の建設に着手している。施設規模はRC造5階建て、延べ1064・48平方メートル。設計はスカイリフ環境計画（東京都新宿区）。施工は東日本アセットマネジメントが担当し、来年春頃の完成が見込まれている。

この北山の施設と、近くは青葉区荒巻地区で建設中の施設は仙台市が来年春のオープンをめどに選定した認知症対応型共同生活介護（グループホーム）として選定されている。定員はそれぞれ18人と27人。さらに、泉区泉中央南地区では近くサービス付き高齢者向け住宅「ライブラリ泉中央」（仮称）の建設計画の着工が予定されている。RC造5階建て、延べ3690平方メートル規模、完成は来年末が見込まれる。

このほかにも、仙台市内には最近、東北進出の大手民間介護事業者が高齢者介護施設の事業展開を図ろうとする動きが確認されており、利用者側の選択肢の幅が広がっていきそうだ。

現在、東北では岩手県に「医心館盛岡」（盛岡市本宮 定員40人）と、「同盛岡Ⅲ」（同市下太田沢田 同54人）、山形県に山形市

馬見ヶ崎に「医心館山形」（山形市馬見ヶ崎 同40人）があるほか、これからの開設として先の仙台長町のほか、青森県八戸市田向に「医心館八戸」（同45人）と、岩手県北上市さくら通に「医心館北上」（同31人）を設備予定に挙げている。仙台市では人口規模を考えれば潜在的な需要はまだ多いと見られることから、今後、複数の事業展開を考え（同社広報担当者と話している）。

一方、介護・保育・障がいサービス事業を展開するリビングプラットフォーム（札幌市中央区南二条西20丁目291 金子洋文代表取締役）も仙台市内数カ所で新規の施設展開に着手している。

青葉区上杉6丁目では、地権者が建設した施設を有料老人ホーム（S造4階建て、延べ2611平方メートル）として使用する予定で来年春の完成を目指し現在工事が進められている（設計・施工は大和ハウス工業）。北山交番の西側近隣地となる青葉区北山1の228の1ほか地内の敷地53